

特別講演

10月16日（土）14:00~15:30

文学とエピステーメー 学際なんてケチなこと言ってんじゃないぜ

司会 大藪 加奈（金沢大学教授）
講師 学魔 高山 宏（明治大学教授）

時代のエピステーメー（知 / 知識）全体のあり方のなかで〈文学〉という謎の営みを捉えて有効な説得力を持たない限り、文学研究は相変わらずほとんど個人の趣味・嗜好以上の評価は得られず、「脳の十年」（アメリカ）、「メディア革命」（ドイツ）の名の下に急進行する人文科学全体の「視覚的転向」・「電脳的転向」の趨勢の中で旧態墨守の文学研究は絶滅される運命にある。三十年にわたってヨーロッパ文学研究のフロントを走り抜いてみて、激しい危機感と、文学研究を積極的に「延命」させる興味深い展望との間（はざま）にある、そのスリリングな報告をしてみよう。

最大級の英文学テキスト——『オックスフォード英語辞典（OED）』——を狂言回しに、形而上派詩人と「驚異博物館」、ロンドン王立協会という最重要組織、デフォーのいわゆる「知の商人」論、漱石のスターン好きの意味、そして『OED』そのものの文学的位置付けという話題を通して英文学にありうべき「新人文学的転向」の一端を開陳する。

一期一会、乾坤一擲の一時間半、諸姉兄の人生は変る。

研究発表一覧

10月16日(土) 15:45~17:45

第1室 [301教室]

司会 内田 勝 (岐阜大学准教授)

- 『トリストラム・シャンディ』の地政学
名古屋大学文学研究科博士課程後期 三原 大地

司会 上原 早苗 (名古屋大学教授)

- Goblin Market* における果実のイメージ
名古屋大学文学研究科博士課程後期 森 彩香
- 語っているのは誰か
Dracula の語りに関する一考察
愛知淑徳大学助教 山田 幸代

司会 高田 茂樹 (金沢大学教授)

- Bernard Shaw による Wagner の読み替え
Man and Superman における *Das Rheingold*
の要素
名古屋学院大学大学院 森川 寿

第2室 [302教室]

司会 伊里 松俊 (愛知県立大学教授)

- 世紀末のスコットランドとジャポニスム
「ティールーム」にみる「茶屋」のかたち
金沢美術工芸大学教授 横川 善正
- 忘れられた「ピクチャレスク」な風景
郊外小説に描かれた「家」を読む
名古屋大学文学研究科准教授 大石 和欣

司会 鈴木 俊次 (愛知学院大学教授)

- マスキュリティ獲得の物語(?)としての “The Machine Stops”
愛知学院大学大学院博士課程 安藤 洋平
- オールダス・ハックスリーと自己実現
『島』を中心に
愛知大学非常勤講師 小川 桂子

第3室 [303教室]

司会 道木 一弘 (愛知教育大学教授)

- アイルランド短篇小説に見る ‘paralysis’ と ‘lonely voice’
愛知淑徳大学研究生 大井 佐代子

- ジェイムズ・ジョイスと視覚芸術
研究の現状と今後の展望
金城学院大学教授 田村 章

司会 岩田 和男 (愛知学院大学教授)

- 「小鬼」とともに — ボウエン『愛の世界』を読む
長野県看護大学専任講師 松井 かや
- A History of the World in 10 1/2 Chapters*
における語り
中京大学大学院博士課程 中沢 まゆ子

第4室 [304教室]

司会 村上 清敏 (金沢大学教授)

- “The Paradise of Bachelors and the Tartarus of Maids” に見られるホモソーシャルな社会と女性労働者の関連性について
愛知大学嘱託助教 林 姿穂
 - Vein of Iron* における女性とインディアンの物語
福井県立大学准教授 長岡 亜生
- 司会 大工原 ちなみ (富山大学教授)
- 多文化主義社会への変容を求めて
ヒサエ・ヤマモトの描く日系女性の抑圧体験を読む
金沢大学非常勤講師 小松 恭代
 - Stories for Amish Children
Analysing the Themes of Children’s Corner
Stories in *Family Life*
金沢大学教授 大藪 加奈

第5室 [305教室]

司会 森 有礼 (中京大学准教授)

- インド系映画における Jane Austen 作品
中京大学非常勤講師 玉崎 紫
- 『オランダ』(1992)の考察
サリー・ポッターの描くオーランドー
愛知学院大学非常勤講師 岩塚 さおり
- 純粹なる欲動
Alien (1979)、外部と内部の物語
金沢大学准教授 小原 文衛

第6室 [104教室]

司会 中村 不二夫 (愛知県立大学教授)

1. 英語史における動詞不変化詞構文の歴史的発達
名古屋大学文学研究科博士課程前期 玉田 貴裕
2. 遡及的動名詞の歴史的発達に関する一考察
名古屋大学文学研究科博士課程前期 杉浦 克哉
3. **written language** の文法から見た **spoken language** のいくつかの特徴について
金沢大学教授 澤田 茂保

第7室 [102教室]

司会 谷内 輝雄 (金沢学院大学教授)

1. 平田禿木と『英語青年』
愛知大学大学院文学研究科 辻村 英介

司会 小熊 猛 (富山高等専門学校准教授)

2. ネゴシエーションにおける英語表現
金沢大学准教授 數見 由紀子
3. **A Semantic Approach to English Teaching**
信州大学人文科学研究科修士課程 志儀 智史

シンポジウム一覧

10月17日（日）10:00~12:30

第1室（英米文学）[103教室]

「似姿」への欲望—ロボットから読む英米文学テキスト

講師・司会	新関 芳生	（関西学院大学教授）
講師	久保 拓也	（金沢大学准教授）
講師	伊藤 正範	（関西学院大学准教授）
講師	山本 卓	（金沢大学准教授）

第2室（英語学）[105教室]

ラネカー視点構図の射程

司会	中村 芳久	（金沢大学教授）
講師	堀田 優子	（金沢大学准教授）
講師	上原 聡	（東北大学教授）
講師	廣瀬 幸生	（筑波大学教授）
講師	本多 啓	（神戸市外国語大学教授）